

## 2017年度春学期 授業アンケート「教員コメント」の「FD委員会総括」

FD委員会

### <座学>

1. 学生の感想として、授業内容を「難しい」「やや難しい」と回答する学生が、教養、専門、語学に関係なく多い傾向にあるようです（本学学生の特徴も関係する可能性もありますが）。しかも、複数の先生から難しいと回答する学生がここ数年増えているのではないかと指摘もありました。しかし、ほとんどの授業において、学生は「満足」「ほぼ満足」と回答しており、概ねいずれの授業でも授業目的を達成できているのではないかと評価できます。特に、レジュメ作成やパワーポイント資料等の配布物の見直し、板書の工夫、また学生の理解や興味を促す新聞記事やDVDなどの教材を補足的に活用している例もあり、それら各教員の工夫が効果的であったと考えられます。
2. 講義形式で、大人数の授業が比較的多いという条件がある中で、学生の主体的な参加や学びを引き出す教育・指導方法の工夫も目立ちました。小テストとレポートによる理解度の確認などです。また板書では、丁寧でわかりやすくシンプルに説明することを心掛けるといった改善を検討する例もありました。また、FDワークショップで案内したレジメのグーグル・ドライブでの配布の活用など取り入れられる先生もあり、印刷・配布時間の節約に効果が出たとの回答もありました。
3. 授業の工夫の方法や事例研究など、さらに求める声もあり、FD委員会で来年度に向けて検討していきたいと考えています。
4. 授業アンケートの中には、教員に対して礼儀を失するような内容を書く学生がいたり、授業の態度を注意されたことに逆上してコメントを書いた学生もいたようですが、きちんとした説明をして理解を求めた先生もありました。

### <演習・実習系科目>

1. 全般的に学生の満足度は高い良好な評価を受けておられるようでした。
2. 専門演習については、輪読、フィールドワーク、実習など、ゼミによって多様な内容にはなっていますが、全般的に満足度は高く、学生の積極的な参加がみられるような授業進行になってきていると評価されます。他方で、1クラス当たりの学生数が多く発表・討論の時間が少なくなるとのコメントもありました。
3. アカデミックリテラシーについては学生からの評価はあまり高くはなく、また先生方からも様々な問題や改善策を指摘する記述が多くありました。「予習・復習をしない」「学生のモチベーション維持が難しい」「カバーする内容が多すぎる。基礎演習との役割分担が必要」「廃止すべき。初年次教育としては基礎演習の方が効果的」などです。アカデミックリテラシーの在り方については当委員会だけでなく、様々な場所で検討していくことが重要だと考えていますので、様々な委員会、ワークグループと情報交換をしない

から検討していければと考えています。

### <語学>

1. 語学においても「難しい」「やや難しい」と回答する学生が多いようでした。しかし、いずれの言語でも学生の授業満足度が高いようです。授業の目的にあわせた教材選択や、学生の興味を引くような題材選択などの成果だろうと考えられます。結果として、学生の満足度も高いようで、評価されている先生方が多いようでした。
2. 学生の予習・復習に関しては、特に語学の場合は重要とするコメントが多いですが、まだすべての学生が完全にこなしてきているとは言えない場合もあるようで、全体的に今後の課題としてあげておられる先生が多いようでした。
3. 習得が遅れがちな学生と語学力に優れた学生に、次第に分かれるという語学教育に特有の問題は、例年のようにコメントされています。予習復習、小テストや授業に関心を高める工夫によって対応をしておられました。
4. やはり授業運営が難しくなるので、少人数がよいとのコメントがありました。

### <総括>

1. 上記の各領域での教員コメントから、本学の教員が、専任・非常勤のいずれも各授業の特徴を踏まえ、学生の理解度、教育の質の向上を図るために、FD研修や本学・他学に限らず意見交換をして、さまざまな創意工夫と日常的に積極的に授業改善に取り組む様子が窺えました。
2. 今回は、特にアカデミックリテラシーに関するコメントは多く、この科目へのとまどいやあるいは工夫や改善の必要性を訴えておられる先生が多くありました。
3. アンケートについては一部の学生が記述している要求が全般的な外れの場合もありますし、授業進行や授業の運営姿勢を誤解していることもあります。そのような場合、アンケート記述から授業の改善点に気付くことも大切ですが、アンケート記述に引きずられすぎないことも大切なように存じます。もちろん、アンケートの改善は続けてまいります。完全なアンケートもございませんので、アンケート結果をうまく利用していただき、自ら授業の回顧・改善に役立ててすることも重要でしょう。
4. 最後に、本学の学生で真面目に取り組む学生が多いことへの高評価が散見されるとともに、アンケート結果を真摯に受け止め、改善努力を怠りなく取り組む本学教員の真剣な姿勢が鮮明になりました。授業改善に取り組まれる先生方の熱意と、ご努力に対して、FD委員会からは敬意を表します。今後とも引き続き、学生のためのご尽力をお願い申し上げます。

以上